

# 2018 年度事業計画案

## 1. 14 年目(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)事業計画

- ① 2019 年度の奨学生の選考及び決定を行なう。
    - ・ホームページ、フェイスブック、学校掲示板、大学訪問などによる一般募集
    - ・書類選考、WEB テスト、面接選考を経て決定
  - ② 世界各国からの私費外国人留学生約 100 名に一人あたり月額 11 万円の奨学金を支給する。奨学金支給期間は原則一年間、ただし、在学課程最終年度まで支給の可能性もあり、更新時に再度成績確認等の選考を行う。
  - ③ 日本人学生の学部生も奨学生の採用対象とする。一人あたり月額 5 万円(自宅生)と一人あたり月額 8 万円(自宅外生)で合計最大 50 名上限に採用。支給期間は原則一年間、ただし、在学課程最終年度まで支給の可能性もあり、更新時に再度成績確認等の選考を行う。
  - ④ 日本人学生の高校三年生対象となる予約型奨学金も行う。指定高校在籍と指定大学入学が条件として、一人あたり月額 5 万円(自宅生)と一人あたり月額 8 万円(自宅外生)で合計最大 30 名上限に採用。支給期間は、在学課程最終年度まで最大 4 年間支給の可能性もあり、更新時に再度成績確認等の選考を行う。
  - ⑤ 海外奨学金として、台湾の大学生 50 名に一人あたり年額 100,000TWD、ベトナムの大学生 100 名に一人あたり年額 13,000,000VND の奨学金を支給する。また、中国の大学生 200 名に一人あたり年額 10,000CNY の奨学金を支給する。
  - ⑥ 奨学生に対する生活指導及び助言を行う。
    - ・定期通信及び個別面談の実施・・・生活実態の把握と所在確認
    - ・インターンシップの実施・・・人財採用部と連携
    - ・レポートに対するコメント(テーマ:研究内容、将来の夢、観分判など)
  - ⑦ 奨学生との交流活動を年 4 回行う。(奨学生 OB・OG 含む)
    - ・奨学財団入団式開催・・・奨学生決定後、年 1 回開催
      - 兼桜花見・・・日本を代表する樹種の美しい風景を見学することで日本の文化を肌で感じる・及び日本人大学生と外国人留学生の交流を深める。
- 2018 年度予定:3 月 31 日(土)
- ・アメリカセミナー・・・アメリカでの視察・学習
    - 2018 年度予定:5 月 17 日～26 日
  - ・海外 OBOG 中国在住者交流会・・・海外まで繋がりを深める。
    - 兼海外奨学金中国大学授与式・・・初の海外交流会

2018 年度予定:6 月 2 日(土)

- ・交流会・・・日本文化を理解してもらい交流を深める。  
兼 OBOG 会・・・財団の輪をさらに広げる
- ⑧ 財団の広報活動を行う。(ホームページの運営及び管理)
  - ・ホームページにて奨学生募集、情報公開、財団活動の宣伝など
  - ・SNS(Facebook、Youtube)にて情報公開など  
新規 SNS ルーツ開拓(WeChat、Line)の財団ページの公開
  - ・大学への奨学生募集ポスター掲示依頼、大学との情報交換、訪問  
    (株)ニトリの全店への掲載依頼
  - ・奨学財団新聞の発行(年 3 回予定)
- ⑨ 留学生等の居住施設の設置運営
  - ・ 本財団奨学生に対し、住宅補助費として一人あたり月額 4 万円を支給